

取組主体：株式会社テルベ

基礎情報

【所在市町村】北見市

【作付品目】椎茸

【従業員】31名

1 取組の経緯等

- 株式会社テルベは、セブン&アイホールディングス傘下のイトーヨーカ堂、セブンイレブン・ジャパン、北見市などの出資で平成6（1994）年に設立された特例子会社である。
- 主な事業は、印刷業務、椎茸栽培業務であり、椎茸栽培についてはハウス3棟で菌床栽培を実施。

2 取組内容

- 同社の従業員31人のうち障がい者は19人で、障がい者実雇用率は61%。知的、下肢、聴覚、内部機能の障がい者を各部署に配属。
- 基本はパートナー契約（契約社員）で、6か月ごとに更新面談を行い、作業状況や勤務状況、体調などを考慮し契約の更新を実施。その後、勤務状況や本人の希望等により、嘱託職員（1年毎の契約更新）として契約を行う者もいて、勤続年数、契約形態は個人ごとに異なる。
- 通勤方法は個々により異なるが、自社保有のバスにより、障がい者の大半を送迎。
- 菌床の生産・管理業務に知的障がい者1名、聴覚障がい者1名、上下肢障がい者1名の合計3名が従事。また、椎茸の選別・出荷



▲椎茸の摘み取りの様子

業務には、知的・聴覚障がい者4名が従事。椎茸は大きさ、かさの開き具合等により10種類に選別し、パック・袋詰めを実施。

- 規格外品は機械によりスライスした上で、乾燥機により乾燥椎茸として出荷。スライス及び乾燥機の機械作業については、危険な作業は伴わないものの、必ず指導担当の社員が近くで作業するようにしており、作業に異常が発生した場合は、すぐに伝えるよう指導。



▲椎茸の選別の様子

3 取組のポイント等

- 障がい者職業生活相談員5名を配置し、障がい者の誰もがのびのびと働ける職場環境をサポート。また、困ったときに相談する人を明確に決めることで、障がい者の不安を軽減。
- 選別業務を行っている知的障がい者が選別方法を忘れることがあるため、画像サンプルを掲示するなど、分からないものはハッキリと可視化。
- 知的障がい者は作業を覚えるまでに時間がかかるので「教えながら一緒に働く」という考えで取り組むことが必要。
- ノーマライゼーションの実践企業として、「障がいとは」、「福祉とは」、「ノーマライゼーションとは」をキーワードに、経験に培われた障がい者雇用のノウハウを地域の皆さまに広く伝えるため、施設見学などを実施。（平成25（2013）年度実績 812名）

（この事例の問い合わせ先）

株式会社テルベ

電話 0157-33-2211

<http://terube.jp>

調査時期 平成26年7月